

学校訪問シリーズ 62

大分市立八幡小学校から学ぶ

学校の教育目標「自ら学ぶ力と豊かな心を持ち、心身ともにたくましい子どもの育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「自ら考える力（表現力・他者理解力）」と定め、学習部、生活指導部、保健体育部が、それぞれの目指す子ども像を重点目標とし、達成指標、取組項目を定め、組織的に取り組まれています。

本校の注目すべき点は、上位目標である

「表現力」について、国語科の評価を参考にしながら、独自の評価基準を学年に応じて作成していることです。これにより、カリキュラム・マネジメントが推進され、教科横断的に学校の教育目標達成が期待されます。

また、校内研究ともリンクしており、日々の授業において「表現力、他者理解」を意識した実践を行っています。そのため、参観した授業では短時間のペア学習や、タブレットを使った交流が行われ、表現力が向上していると感じました。

今後は、授業のねらいを、①追究対象（～を、～について）は、子ども達が追究したいくなるような具体的な内容で示されると、課題までの流れがより明確になると思いました。

大分市立八幡小学校 教員による表現力評価

自分の考えを書く力（文章力・語彙力）…書き方の型・接続語・語彙								
レベル	1 準備	人数	2 活字・型	人数	3 構成	人数	4 推敲	人数
B レベル 低学年	・伝える（伝えたい）内容を決めることができる。	%	・接続語を使用して、まとまりを作ろうとしている。	%	・相手に伝わるように、事情の順序を考慮することができる。	%	・文章を読み返す習慣が身につけており、間違いに気づくことができる。	%
A レベル 中学年	・複数の情報から、伝える（伝えたい）内容を選ぶことができる。	%	・各教科の学習語彙と接続語を適切に使用し、段落を作ろうとしている。	%	Bに加え、 ・伝えたい内容が明確になるように、理由や例示等を適切に加えることができる。	%	・文章を読み返し、間違いを正したり、内容を取捨選択したりできる。	%
S レベル 高学年	・複数の情報を関連付けて、伝える（伝えたい）内容を明確にすることができる。	%	・各教科の学習語彙と接続語を適切に使用し、筋道が通るようにしている。	%	Aに加え、 ・伝えたい内容が明確になるように、意見と事実や感想等を区別し、必要な情報を加えることができる。	%	Aに加え、 ・文章全体に着目して、文章を整えることができる。	%

自分の考えを相手に伝える力（話す力）…資料の提示・ICTの利用								
レベル	1 発話	人数	2 態度	人数	3 構成	人数	4 受信	人数
B レベル 低学年	・相手に応じて声の大きさを変えられることができる。	%	・相手を見て、伝わっていることを確認しようとする。	%	・相手に伝わるように、事柄の順序を考えた語型で話すことができる。	%	・相手の話を受けて、話をつなぐことができる。	%



NO.370 2022年11月 大分市立八幡小学校

聴き合い

結論が同じでも、理由や表現の方法は違う。相手の考えから学ぶから、自分の考えも深くなる。



NO.372 2022年11月 大分市立八幡小学校

チャレンジ

みんなの前で表現するのは勇気がいる。でも、真剣に見てくれる友達がいるから頑張れる。



NO.371 2022年11月 大分市立八幡小学校

相手軸

発表する人はわかりやすく、聴く人は共感的に。共に、相手を大切にしているから、学びが深まる。



NO.373 2022年11月 大分市立八幡小学校

メリハリ

良い姿勢で声に出して読んでみる。考えながらゆっくり目で読んでみる。目的にあわせて読み方を変える。



NO.369 2022年11月 大分市立八幡小学校

表現できる

笑顔で聴いてくれる友達がいるから、おもいっきり自分が出せる。



NO.374 2022年11月 大分市立八幡小学校

積極挙手

頑張る友達に囲まれているから、自分の思いを発言できる。自分が頑張るから、友達も頑張る。